

會本威武貴山
中



紀武内宿禰
五百十一



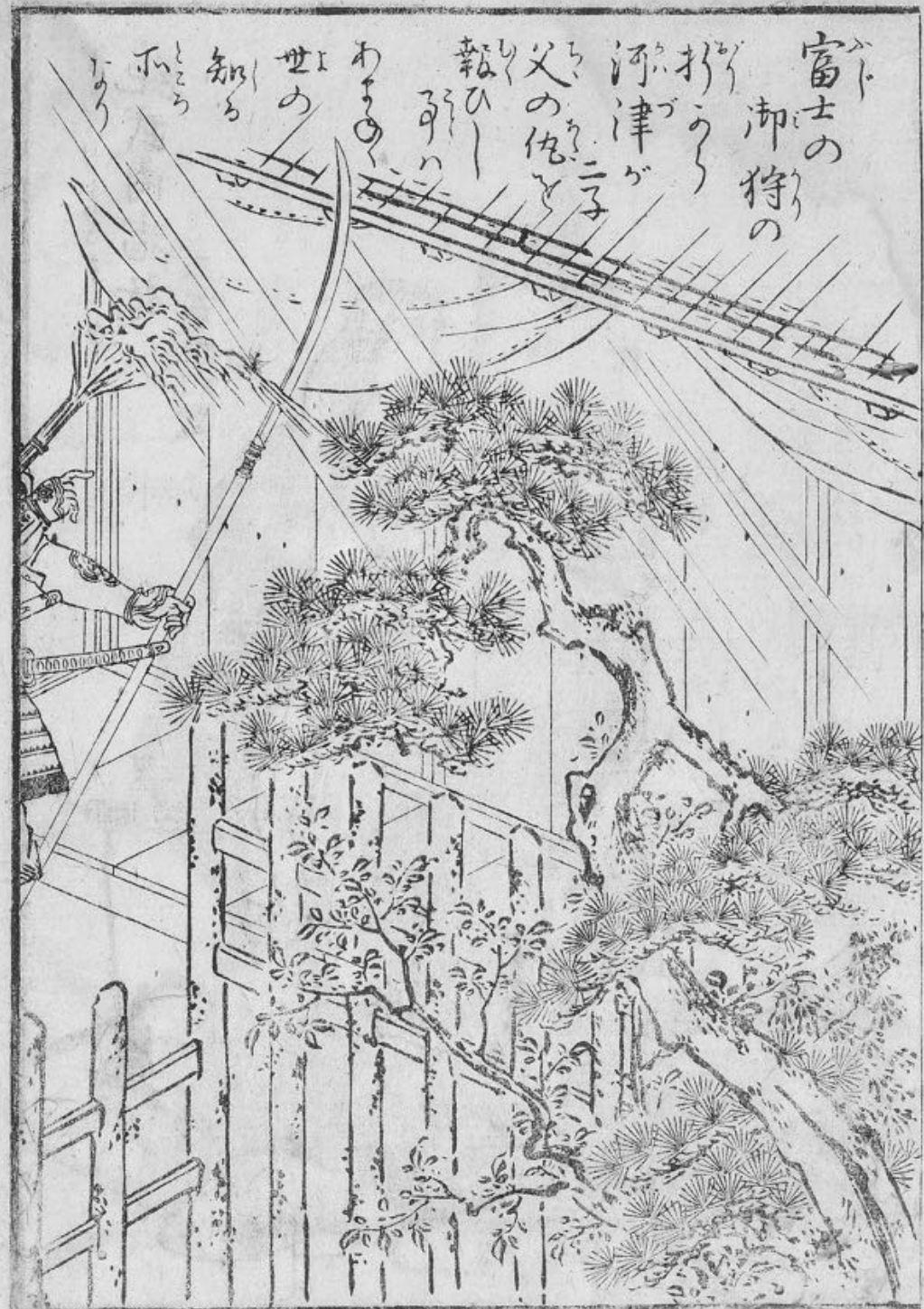
東京大学図書
2014.3.18





きのけしらのすくも
紀武内宿禰
三百十六歳











晋の録讓が
 下ふたゝん
 かし

畠山重忠



大佛
 供養
 時大流小
 はまに
 右大ね
 頼
 神
 英
 ろ
 け

上総
 悪七五郎
 宗清



下冊の国の巨人
 後原の資高
 西海よその果を
 殺百果此今
 関東の
 子孫
 其名と傳ふ

那須興市資高



村上義光
四郎

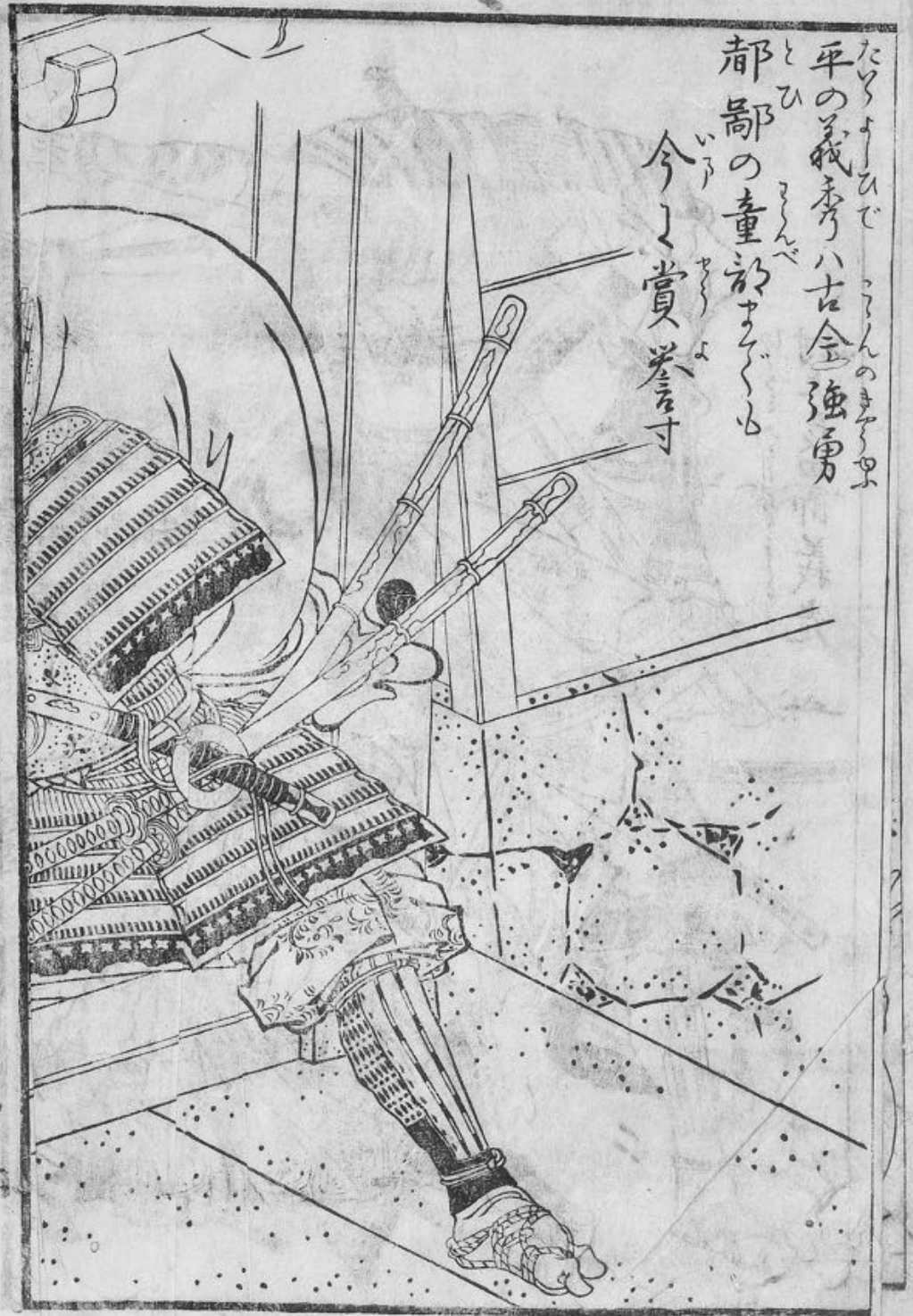


村上義光ハ
大塔の宮態
那の落
九人の二人
其の中
勇猛
の
士

芋瀬庄司



朝比奈三郎平義秀
あさひなのさむらいたけらのよしみで



たゞのよしみで ほんのまじり
平の義秀 八古金強勇
とひ ほんま
都鄙の童初まてり
いふ ちやうよ
今く賞巻す



忠常が富士の
 人穴小入るるハ
 鎌倉日記よ
 見ゆる
 誠奇吳の
 事ども
 あり

二日ノ節忠常



源義朝
朝長
の
名
天
公
ハ
い
ろ
ろ
わ
ら
ぬ

中九ノ

